

単元名 (選択単元)さまざまな土地のくらし「気候」

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 人々の生活や産業などが自然環境に適応する形で営まれていることを理解するとともに、地図帳や気候グラフなどの資料を活用して調べ、振り返りシートなどにまとめることができる。
- (2) 気候に着目して、温暖な気候に暮らす人々の生活を捉え、温暖な気候条件と人々の生活や産業などとの関連について考え、表現することができる。
- (3) 学習問題の解決に向けて意欲的に追究するとともに、温暖な気候の中で努力や工夫をして暮らしている人々について、自分の生活と関連付けて考えようとする。

標準的な展開例

05030103_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 寒暖に差がある地域や土地の高低が違う地域を比べ、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の住んでいる地域と、沖縄県や旭川市、海津市、婦恋村との違いについて話し合い、単元の学習問題をつかむ。 <p>★暖かい気候の地域に暮らす人々は、どのような工夫をして生活しているのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・台風から暮らしを守る工夫をしている ・暖かいから農業が盛んなのではないか ○予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容…気候、生活、産業 ・調べる方法…教科書、インターネット ・表現の仕方…振り返りシート <p>2 沖縄県の位置と気候について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○那覇市の気温と降水量を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・4～10月の平均気温は20度を超えている ・5～6月と、8～9月の降水量が多い ○沖縄県の気候が暮らしに与える影響をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月から海水浴ができる ・田植えや稲刈りが2回ある <p>3 沖縄県の住まいの工夫について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県の伝統的な家の様子について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣で囲まれている ・戸口を広くして風通しをよくしている ○沖縄県の現在の家の様子について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートで作られている ・屋根の上に給水タンクがある ○水不足の対策について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・森林や川が多い所にダムを作る ・地下水をせき止める地下ダムを作る <p>4 沖縄県の農業について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さとうきびの収穫の写真を見て話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・大型の機械で刈り取っている ・高さが2mもあると台風で倒れてしまうのでは ○さとうきび作りがさかんな理由を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・さとうきびは暖かい土地を好む ・強風や日照りに強い ○きく作りがさかんな理由を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・冬でも費用を少なくして出荷できる ・花が咲く時期を調整できる ○さとうきび作りやきく作りの問題点とその対策について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・人手不足や塩害 ・出荷に時間と費用がかかる <p>5 単元の学習を振り返り、沖縄県の人々の暮らしや産業の様子をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県に多くの人が訪れる理由を考え、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・1年間を通して暖かく、過ごしやすいため ・独自の伝統的な文化に魅力があるから ○単元の学習を振り返り、沖縄県の人々の暮らしの工夫を振り返りシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳でそれぞれの位置を確認させたり、既習知識を基に説明させたりする。 ・本単元は、沖縄県について学習していくことを知らせる。 ・自分が住んでいる地域と比べながら話し合わせてもよい。 <p>【評】暖かい気候の地域に暮らす人々の工夫について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.30～37で、学習の内容を大まかに捉えさせる。 ・グラフの読み取り方を確認する。 ・梅雨や台風で降水量が多くなる時期を、グラフで確認させる。 ・愛知や大阪などと比べて考えさせる。 ・教科書P.31「くらしごよみ」を活用させる。 <p>【評】沖縄県の気候と暮らしとの関わりを調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.32の写真と絵から、暑さと台風を防ぐ家のつくりになっていることに気付かせる ・屋根の上のタンクに注目させ、水不足になる理由についても考えさせる。 ・沖縄県の山が少なく、川が短いという地形と関連付けながら話し合うようにする。 ・話し合う前に、教科書P.34「沖縄県のおもな農作物の作付面積」のグラフで、さとうきびの作付面積を確認する。 ・さとうきび作りが気候条件や地形条件と深く結び付いていることに気付かせる。 ・強風や害虫からきくを守る工夫についても触れておく。 ・問題点を解決するために取り組んでいることについても話し合わせる。 ・温暖な気候や独自の文化が沖縄県に魅力につながり、それに伴った観光が大きな産業になっていることに気付かせる。 ・アメリカ軍基地の問題についても触れる。 ・自分が住んでいる地域と比べてまとめさせてもよい。 <p>【評】振り返りシートにまとめる活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は選択単元であり，標準的な展開例では「温暖多雨の地域」を取り扱っている。教科書P.38～45の「寒い土地の暮らしー北海道旭川市ー」を活用して「寒冷多雪の地域」を選択してもよい。